



令和2年3月23日

<タイトル> トビシマカンゾウDNA研究に関する中間発表がありました

令和2年3月1日、トビシマカンゾウのDNA研究に関する中間発表が山形県酒田市にて行われました。

本研究は山形大学農学部と鳥海山・飛島ジオパークが共同で研究を行ったもので、ニッコウキスゲがトビシマカンゾウの変種であることが明らかになりました。さらに、山形県飛島のトビシマカンゾウと佐渡島のトビシマカンゾウは遺伝的に近く、佐渡のものが飛島に渡った可能性が高いこともわかりました。

今回の研究発表は、佐渡島におけるトビシマカンゾウの多様性を明らかにし、また、島内でもDNA的に異なることから、他地区から持ってきて植えるなどは避けるべきなど、今後の佐渡におけるトビシマカンゾウの保全に関しても大変参考になるものです。

なお、研究は今後も続けられる予定です。

とても貴重な研究発表であるため、報道関係の皆様にお知らせいたします。詳しい内容については、ジオパーク推進室までお問合せください。

本件についての問合せ先

佐渡市教育委員会 社会教育課

ジオパーク推進室

電話(直通)0259-27-2162